

令和4年度官民協働事業レビューにおける意見・評価

事業番号: 28-3

担当部局・担当課名: 土木部 建築住宅課

事業名	うるおいある景観づくり推進事業(顕彰事業分)	評価結果	抜本的改善
-----	------------------------	------	-------

事業レビューにおいて発言のあった主な意見

【委員の意見】

- ・美しいまちづくり(県土づくり)のために、景観に対する啓発であるとか、必要な景観条例を制定していく、その市町村に対してサポートしていく事が必要だと考えるが、この制度ではなかなか感じられない。
- ・景観づくり活動や景観に配慮した建物を顕彰して、それをPRするのは市町村ごとに行う話ではないか。
- ・受賞した景観を守っている人たちが次も受賞できるようにモチベーションとして守って行く取組も大事。
- ・部門の見直しもあってよいのではないかと。例えば、単純に施設の美しさを判断するものと活動に対してではなく、保全する活動とともに1つのプロジェクトとして評価する。
- ・フォーラム参加者は、意識の高い関係者の方が圧倒的に多いので、県民の方全体を巻き込む仕組みにした方がよい。
- ・フォーラム参加者数は、頑張って来てもらっても、富山県民全体を見たときには限定的であり、どの様な人にどの様な情報を提供していくか考える必要がある。(普及啓発の質の重視)
- ・パンフレットはすごく気に入った。優れた景観そういうものを県民の方に見てもらう機会を作ることによってセンスが磨かれる。成果につながるの果てしないことであるが、信じてやるしかない。
- ・SNS(インスタグラムなど)を活用することにより、(明確な)成果指標を示せるようになるのではないかと。
- ・一度できたものを顕彰するのではなく、活動をフォローし景観を維持しているところに、フォーカスを当てるべき。
- ・県民の方へ景観を守って行くことが伝わるまでは、こういう事業は多分あった方がよい。

【県民評価者の意見】

- ・景観の優れたところは一つの観光資源となる。パンフレットの受賞一覧及び地図をWEB上で公開し、「とやま観光ナビ」とリンクさせるなど、普及について検討。
- ・景観の保全を身近で考えた時に、空き家の活用を推奨するなどしてベースラインを底上げしていく取組も必要。

県民評価者の評価シートによる評価

県民評価者総数	11
---------	----

評価区分 (考え方)	行政の関与 不要 (賞の募集、フォーラムの実施、パンフレットの作成こういうものを一旦やめる、又は他のやり方に変える)	役割分担 見直し (市町村で、表彰及び表彰式を実施)	抜本的改善 (賞の募集、フォーラムの実施、パンフレットの作成の中から1つはやめる、又は各市町村で条例をつくることを目指す)	一部改善 (今までのやり方を踏襲するが、フォーラムの位置づけを変える、又はやり方を見直す)	現行どおり ・拡充 (今までどおり実施する、又はもう少し予算を投入する)
	0	0	5	4	2

県民評価者の主な評価シートコメント	評価結果と 同じ評価	<p>【抜本的改善】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・受賞からもれたものについて、どのようにすれば富山らしい景観となりえるかのフィードバック。 ・誰でも応募可でなく、自らの活動(景観づくりの努力、保全も含めた)に基づいた意志の上での応募であるべき。 ・目的が意識の高揚を図る事であれば、教育(義務教育)の分野で行っていくのが効果的と思う。 ・県としての事業であれば、ランドデザインの方に投資すべきと感じた。 ・景観というものについて、根本的に見直す時期に来ているのではないかと。 ・景観を乱すものとして、空き家があげられる。景観づくりに加え、高齢化地区の空き家対策につなげてはどうか。 ・事業の性質上、具体的な効果が見えにくい。奈良県のように2年又は3年に1回の開催としてはどうか。 ・SNSのサイトで県民から応募を受け付け、その中から選定すればどうか。
	上記以外	<p>【一部改善】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・知名度が低いので、内輪の賞という感じがする。もっと県民を巻き込み観光にも広げるとよい。 ・観光資源としての波及効果が見込めるので、もっとアピールすればよい。 ・受賞場所の写真や説明が見られるようにすれば、観光資源としても活用ができる。景観マップのホームページの作成や「とやま観光ナビ」からの検索など。 ・観光資源としてとらえれば、観光客が訪れ、地元にお金が落ちるので、事業効果が見込めるのではないかと。 ・都会の建物を真似た様なものを選定せず、富山県らしい景観を損なわないものを選定。 ・誰でも応募できるので、各学校(小学校の景観活動など)や富山大学の関係学部へ協力してもらおう。 ・優れた景観を創るには、個々の建物デザインが優れているだけでなく、都市全体で調和とれた形状や色彩となるような施策が必要。 <p>【現行どおり・拡充】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・観光業として生かすことが出来ればよいのではないかと。

事業名	うるおいある景観づくり推進事業(顕彰事業分)	評価結果	抜本的改善
------------	------------------------	-------------	-------

【参考】委員による評価

【参考】委員による評価				委員総数	4
評価区分 (考え方)	行政の関与 不要 (賞の募集、フォーラムの実施、パンフレットの作成こういうものを一旦やめる、又は他のやり方に変える)	役割分担 見直し (市町村で、表彰及び表彰式を実施)	抜本的改善 (賞の募集、フォーラムの実施、パンフレットの作成の中から1つはやめる、又は各市町村で条例をつくることを目指す)	一部改善 (今までのやり方を踏襲するが、フォーラムの位置づけを変えとか、やり方を見直す)	現行どおり ・拡充 (今までどおり実施する、又はもう少し予算を投入する)
	0	0	2	2	0
委員の主なコメント評価シート	<p>【一部改善】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・景観の啓発は、県が総括した方がよいと思う。 ・景観事業に取り組むことが如何に大変かも認識しているが、県民の方を巻き込むための仕組み、モチベーションを再検討する必要がある。 (例えば、受賞された活動団体を近隣の美景観バスツアーに案内するなど。) ・県民の方にもっと景観について考えていただくために、やり方の改善が必要だと感じた。 				